

2-7 食品工場から排出される汚泥・残渣や下水汚泥を活用した堆肥の製造 (株式会社大地)

○ 株式会社大地は、岐阜県多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市等の下水汚泥及び食品企業からの食品汚泥・残渣等を活用して汚泥発酵肥料「大地の匠」を製造。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称 ■取組の経緯・内容

食品汚泥
食品残渣
下水汚泥
工業汚泥

汚泥発酵肥料
大地の匠

取組の経緯
・20年前に産業廃棄物処理業の許可を得て事業を開始した。資源の地域循環を目指し、汚泥発酵肥料の製造を開始した。現在では岐阜・東濃5市（多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市）から下水汚泥を受け入れている。

■作物
露地野菜
水稻

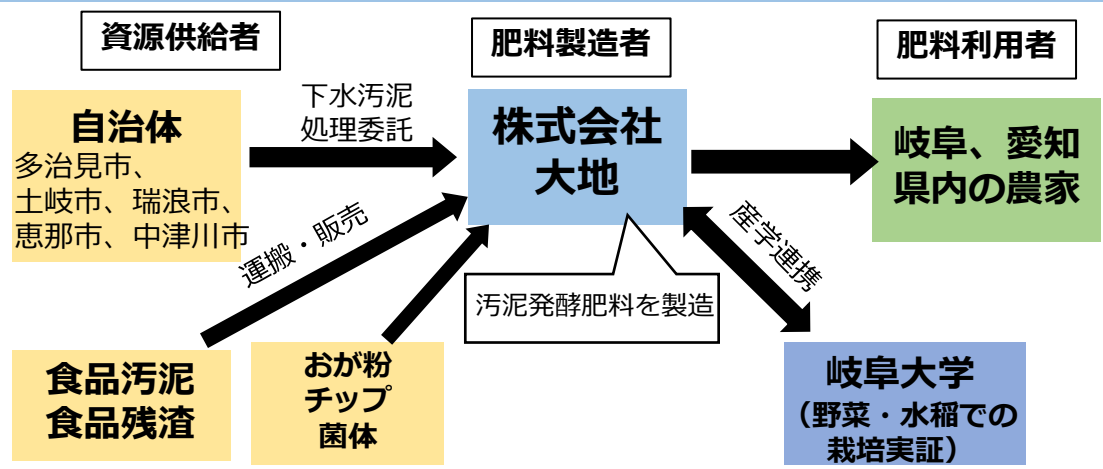
■主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K
2.0	1.7	0.5

土と混ぜず堆肥のみでの栽培も可能

取組の内容
・残臭がなく、高品質の有機肥料を農業関係者に提供することを目指し、種菌や水分調整材であるおが粉やチップを加え、高温発酵を心掛けた。
・2021年には岐阜大学との産学連携により、大学の付属農場で野菜・水稻での栽培実証を実施。大学および農業関係者から肥料の施用効果、栽培の状況等のフィードバックを受けさらなる改良を進めている。
・地域貢献と汚泥肥料のイメージ払しょくのため、地元小学校で授業の一環として肥料を使って大豆を栽培。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・製造量の増加と販売先の確保。
- ・農業者のもつ汚泥肥料への悪いイメージの払拭。
- ・おが粉の代替となる木材チップの自社生産。

